

農地法第4条第1項第5号の規定による農地転用届出書

農業委員会会長 様

年 月 日

届出者 印

下記により農地を転用したいので、農地法第4条第1項第5号の規定により届出をします。

1 届出者の住所及び職業	住 所					職 業			
2 土地の所在、地番、地目及び面積並びに所有者及び耕作者の氏名住所	土地の所在	地 番	地 目		面 積 m ²	土地所有者		耕 作 者	
			登記簿	現況		氏 名	住 所	氏名	住 所
	計	m ² (田			m ² , 畑		m ²)		
3 転用計画	転用の目的								
	転用の時期	工事着工時期	年	月	日				
		工事完了時期	年	月	日				
転用の目的に係る事業又は施設の概要									
4 転用することによって生ずる付近の農地作物等の被害の防除施設の概要									

記載注意

- 個人が氏名を自署する場合については、押印を省略することができる。
- 関係者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容をそれぞれ記載すること。
- 土地の所在等の記載欄が足りない場合は、別紙に同様の記載欄を作成してそれぞれ届出書に添付すること。
- 「転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、事業又は施設の種類、数量及び面積、その事業又は施設に係る取水又は排水施設等について具体的に記入すること。

農地法第5条第1項第3号の規定による農地転用届出書

農業委員会会長 様

年 月 日

譲受人氏名 印
譲渡人氏名 印

下記により転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定、移転したいので、農地法第5条第1項第3号の規定により届出をします。

1 当事者の氏名 住所, 職業	当事者の氏名	氏名	住所	職業		
	の別					
	譲受人 譲渡人					
2 土地の所在, 地番, 地目 及び面積並び に所有者及び 耕作者の氏名 住所	土地の所在	地番	地目 登記簿 現況	面積 m ²	土地所有者 氏名 住所	耕作者 氏名 住所
計		m ² (田	m ² 畑	m ² 採草放牧地	m ²)	
3 権利を設定, 移転しようと する契約の 内容	権利の種類	権利の設定 移転の別	権利の設定 移転の時期	権利の存続期間	その他	
4 転用計画	転用の目的	開発許可を要しない転用行為にあつては都市計画法第29条の該当号				
	転用の時期	工事着工時期	年	月	日	
		工事完了時期	年	月	日	
転用の目的に係る事業 又は施設の概要						
5 転用すること によって生ず る付近の農地 作物等の被害 の防除施設の 概要						

記載注意

- (1) 個人が氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- (2) 関係者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務内容をそれぞれ記載すること。
- (3) 当事者の氏名等の記載欄が足りない場合は、別紙に同様の記載欄を作成してそれぞれ届出書に添付すること。
- (4) 「転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、事業又は施設の種類、数量及び面積、その事業又は施設に係る取水又は排水施設等について具体的に記入すること。

(様式第14号)

農 地 法 第 四 条 許 可 に 伴 う 工 事 完 了 報 告 書
農 地 法 第 4 ・ 5 条 に 関 す る 農 地 転 用 の 届 出

年 月 日

千葉県知事

様

申請者 住 所
(転用者)氏 名

印

下記の土地は農地法の規定に基づき許可を受けましたが、転用目的に係る工事が完了しましたので、報告します。

1 許可番号 千葉県 指令第 号の 許可年月日	年 月 日	2 転用年月日	年 月 日 着工 年 月 日 完了							
3 転用目的										
4 許可を受けた土地の所在地番地目面積	土地の所在	地 番	地 目	面 積 m ²	5 許可を受けた転用目的に係る施設の概要	建築物工 作物その 他施設等 の名称	棟数	1棟の建 築 面積m ²	建築総面積又はその 他施設の所要面積 m ²	
添付資料	1 許可を受けた土地全体が判明できる写真		2 見取図							
留意事項	1 個人が氏名を自書する場合には、押印を省略することができる。 2 「許可番号」欄は、当初許可の指令番号を記入すること。 3 転用目的が資材置場の場合は、申請目的どおり利用した時点で提出すること。 4 転用目的が植林の場合は、植林後3年を経過した時点で提出すること。 5 許可を受けた施設と実際に建築された施設とが相違する場合は、計画変更承認申請書を同時に提出すること。									

工 事 完 了 報 告 に か か る 確 認 書

年 月 日

農業委員会会長

印

上記と土地について現地調査した結果、次のとおり確認をしました。

処 理	調 査 項 目	調 査 結 果
報 告 書 受 付	年 月 日 許 可 目 的 の 施 設 だ る か	有 無
現 地 調 査	年 月 日 許 可 面 積 の 施 設 だ る か	有 無
意 見 決 定	年 月 日 申 請 者 が 転 用 し て い る か	有 無
転用事実確認証明願の提出の有無及び適否	有 無 否	100% % []
現地調査者職氏名	調 査 時 の 工 事 の 完 了 状 況	

許可申請書作成上の注意事項

- (1) 記載に当たっては、かい書ではっきり書いてください。
ただし、住所については住民票、氏名については戸籍簿、土地の表示については登記簿に書いてあるとおりの字体を使用してください（申請書の内容がそのまま許可指令書に反映され、正確な記載がされないと、登記ができなくなりますので注意して記入してください）。
- (2) 申請書の欄について、個人が氏名を自署する場合においては、押印を省略することができます。
なお、「譲受人」とは「転用を行う事業者」であり、「譲渡人」とは「土地の提供者」です。第4条の場合は「譲受人」欄に各項目の記載をしてください。
- (3) ※印のある欄については、該当する条項を○で囲み、空欄には第4条の場合は「転用」と記載し、第5条の場合は「転用を伴う所有権移転（転用を伴う賃借権設定、転用を伴う使用貸借による権利設定等）」のように権利の種類及び設定又は移転の別を記載してください。
- (4) 譲受人、譲渡人、土地の表示等の記載欄が足りない場合は、別紙に同様の記載欄を作成してそれぞれ申請書に添付してください。
ただし、この場合は、申請書と添付書類に割り印をしてください。
- (5) 地目「現」欄は、「登」欄が農地以外の場合にのみ記入してください。
「現」とは申請者が判断する「現況地目」であり、「登」とは「登記簿の地目」です。
- (6) 「自作・小作別」欄は、申請地について耕作の事業を行う者が所有権に基づきその事業に供している場合には「自作」、耕作の事業を行う者が所有権以外の権原に基づきその事業に供している場合には「小作」と記載してください。
- (7) 土地の表示欄に余白が生じる場合は、当該余白欄に斜線を引くか又は「以下余白」と記載してください。
- (8) 「3 転用計画」以降の欄についても漏れなく記入してください。
- (9) 押印する場合、印鑑欄は、許可申請書2部すべてに押印し、添付書類についても2部作成し、許可申請書にそれぞれ添付してください。
- (10) 記入欄が足りない場合は、別紙に記載してください。

土地所有者の誓約事項

私は、下記事項について誓約いたします。 署名

印

- ①自己の所有する農地を農地として効率的に活用するため、事業内容を把握しました。
- ②土地所有者（耕作者）は、転用事業が行われている間、違反転用の発生を防止するため埋立等事業計画に定められたとおり実施されているかを定期的に把握するとともに、計画どおり実施していないとき又はそのおそれがあることを知ったときは、直ちに、事業を行う者に対し事業の中止及び原状回復を求めるとともに、その旨を農業委員会に通報します。
- ③農地復元については、別添「農地復元誓約書」のとおり誓約します。
- ④作付けについては、別添「作付け計画書」のとおり作付けします。

許可申請書作成上の注意事項

- (1) 記載に当たっては、かい書ではっきり書いてください。
ただし、住所については住民票、氏名については戸籍簿、土地の表示については登記簿に書いてあるとおりの字体を使用してください（申請書の内容がそのまま許可指令書に反映され、正確な記載がされないと、登記ができなくなりますので注意して記入してください。）。
- (2) 申請書の欄について、個人が氏名を自署する場合には、押印を省略することができます。
なお、「譲受人」とは「転用を行う事業者」であり、「譲渡人」とは「土地の提供者」です。第4条の場合は「譲受人」欄に各項目の記載をしてください。
- (3) 譲受人、譲渡人、土地の表示等の記載欄が足りない場合は、別紙に同様の記載欄を作成してそれぞれ申請書に添付してください。
ただし、この場合は、申請書と添付書類に割り印をしてください。
- (4) 地目「現」欄は、「登」欄が農地以外の場合にのみ記入してください。
「現」とは申請者が判断する「現況地目」であり、「登」とは「登記簿の地目」です。
- (5) 「自作・小作別」欄は、申請地について耕作の事業を行う者が所有権に基づきその事業に供している場合には「自作」、耕作の事業を行う者が所有権以外の権原に基づきその事業に供している場合には「小作」と記載してください。
- (6) 土地の表示欄に余白が生じる場合は、当該余白欄に斜線を引くか又は「以下余白」と記載してください。
- (7) 「権利関係の内容」欄については、第5条の場合に「転用を伴う賃借権設定、転用を伴う使用貸借による権利設定等」のように権利の種類及び設定又は移転の別を記載してください。
- (8) 「3 転用計画」以降の欄についても漏れなく記入してください。
- (9) 押印する場合、印鑑欄は、許可申請書2部すべてに押印し、添付書類についても2部作成し、許可申請書にそれぞれ添付してください。
- (10) 記入欄が足りない場合は、別紙に記載してください。

(様式第16号)

軽微な農地改良の届出書

年 月 日

農業委員会会長 様

土地所有者 住 所
氏 名

下記のとおり農地への盛土等を実施したいので届出をします。
本工事に当たっては、建設残土等は使用しません。
なお、工事完了後は の作付けを行います。

記

工事施工者	住 所	電 話			
	氏名 (名称)				
関係土地	土地の所在	地 番	地目	面積	土地の利用状況
耕 作 者	住所 氏名	電 話			
事 業 期 間	年 月 日から 年 月 日まで				
必 要 経 費					
盛土等の高さ					
搬入土砂等の 取得先					
隣接農地への被害防除方法					

添付書類：搬入土砂等の取得先との契約書 (写)、請負契約書 (写)
(地形・構造等が複雑である場合は、工事の詳細図)

(様式第18号)

千葉県水田農業構造改革事業届出書

年 月 日

農業委員会会長 様

申請者 印

下記のとおり千葉県水田農業構造改革事業を実施します。

記

実施主体	
施工箇所	
事業の種類	
事業の期間	
工事施工業者	
工事の内容	

記載注意

個人が氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。

(様式第2号)		事業計画書							
ア 計画施設内容(事業を行う理由, 造成の計画も記入。埋立て等を行わず整地の場合にも, その内容を記入。)									
イ 土地選定理由(他の土地(農地以外の土地も含む。)で当該事業を行えない理由も記入。)									
ウ 地目別面積(申請に係る農地と一体として利用する農地以外の土地についても記入。)									
田	㎡	畑	㎡	採草放牧地	㎡	その他	㎡	合計	㎡
エ 申請に係る農地と一体として利用する農地以外の土地の権利取得の見込み									
オ 用水(上水道等)・排水・調整池計画(排水については雨水, 汚水, 雑排水別に記入。)									
カ 防災計画(工事中・施工後の防災計画を記入。)									
キ 周辺農地の営農条件への被害防除対策(農業用排水・施設, 日照, 通風への影響, 土砂流出防止等を記入。)									

ク 隣接農地所有者・耕作者への説明状況等(説明内容及びそれに対する相手方の対応状況を記入)		
説明をした者		
隣接農地所有者(耕作者)		
説明内容(被害防除対策)		
隣接農地所有者(耕作		
者)の意見(対応状況)		
その他(状況を詳細に)		
ケ 一時転用期間の説明(一時転用の期間が必要最小限度であることを記入。)		
コ その他(離農措置をとった場合などその内容を記入。)		

埋立等事業計画書

事業施行者	住所	氏名	印	電話
工事請負者	住所	氏名	印	電話
現場責任者	住所	氏名	印	電話
事業期間	年 月 日 ~ 年 月 日まで (詳細は別添工程表のとおり)			
土地所有者	住所	氏名	外 名	
申請地	番地外 筆 農業振興地域の農用地指定 有 無 (から 方向へ km 付近の農地)			
予 定 を し て い る 土 砂 等 の 発 生 元	発生元事業者	住 所	氏 名	
	事業の概要	場 所 事業名	施工期間 事業内容	土砂等の発生量 土砂等の性状
	請 負 者	住所	氏名 責任者氏名	電話
	下 請 者	住所	氏名 責任者氏名	電話
	ストック場	所在地	(ストック場管理者) 氏 名	住所 電話
	土砂等確保量			
埋 立 て 等 の 内 容	面積・土砂等の量	(面積)	(土砂等の量)	
	埋立等高	(土砂等の高さ)	(覆土の高さ)	(全体)
	埋立て方式	天地返し方式(掘削の深さ m) 単純埋立て方式		
	堆積計画	(面積) m ² , (高さ) m, (期間) 日, (被害防除)		
	表土の確保	(取得先)	購入	無償 (いずれか一方を○印)
	そ の 他	(車両台数) t車 台/日 (作業時間) 午前 時 分から午後 時 分まで		

記載注意

- (1)個人が氏名を自署する場合において、押印を省略することができる。
- (2)事業期間は、農地の埋立て等(覆土を含む)の全体事業期間を記入すること。
- (3)発生元の事業の概要は具体的にわかりやすく記入のこと。なお、土砂等の発生量は当該事業の全体の発生量をいう。
- (4)ストック場は、当該土砂等の発生元事業者又は中間処理業者が一時仮置きする場所をいう。
- (5)埋立ての面積及び土砂等の量は、事業計画に農地以外の埋立てがある場合は地目ごとに記入すること。
- (6)表土の確保は、埋立て方式か天地返し方式以外の場合に記入すること。
- (7)埋立て方式及び表土の確保は、恒久転用を目的とした埋立ては記入の必要はない。
- (8)土砂等の発生元が変更した場合は、直ちに土砂等発生元変更届出書(様式第25号)を提出すること。

(様式第12号)

年 月 日

千葉県知事

様

住所

氏名

印

農地転用許可後の工事進捗状況報告について(第 回)

さきに、農地法第 条第1項の規定により転用許可を受けた土地の工事進捗状況を下記のとおり報告します。

記

許可年月日	年 月 日 (当初許可年月日)	年 月 日
指令番号	千葉県 指令第 号の	～
許可を受けた農地		
転用面積	[田 m ²] [畑 m ²] [合計 m ²]	
建設計画	着工開始日	年 月 日
	完了予定日	年 月 日
進捗状況		
土砂等発生元	変更なし	発生元
	変更あり	(届出済 ・ 未届け) どちらかに○印発生元

〔注意事項〕

- 1 個人が氏名を自書する場合には、押印を省略することができる。
- 2 この報告は、許可後3ヶ月及びその後1年ごとに工事の完了するまで、その進捗状況を農業委員会へ2部提出すること。
- 3 工事の進捗状況は詳細に記載し、記載事項が証明できる配置図・写真(原則として日付の入ったもので提出日前おおむね一週間以内に撮影したもの。)を添付すること。
- 4 建設工事が許可申請所に記載された事業計画どおりに進捗していない場合(遅延又は未着工)は、その理由及び今後の見通しを詳細に記載すること。
- 5 土砂等の発生元を変更する場合は、直ちに土砂等発生元変更届出書(様式第25号)を提出すること。

(様式第19号)

農地の埋立て等工事完了届出書

年 月 日

農業委員会会長 様

届出者 住所
氏名

印

年 月 日に届出をした農地の埋立て等の工事について、下記のとおり完了したので届出をします。

記

1 埋立て等を完了した土地

所 在	地 番	地 目	面 積	所有者	耕作者
			m ²		

2 工事完了年月日

年 月 日

3 工事施工者

住 所
氏 名

電話

記載注意

個人が氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。

(様式第 1 1 号)

年 月 日

千葉県知事 様

譲受人 住所
氏名 印

譲渡人 住所
氏名 印

一時転用許可期間終了後の農地復元報告書

さきに、農地法第 条第 1 項の規定により一時転用許可を受けた土地の農地復元状況を下記のとおり報告します。

記

許可年月日	年 月 日 (当初許可年月日)	年 月 日
指令番号	千葉県 指令第 号の	～
許可期間	年 月 日	～ 年 月 日
許可を受けた農地		
転用面積	[田 m ²] [畑 m ²] [合計 m ²]	
転用目的		
復元完了年月日	年 月 日	
復元方法	農地造成の場合	覆土方法 天地返し方法 購入表土 無償表土
		表土の種類
	農地造成以外の場合	

[注意事項]

- 1 個人が氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 2 「指令番号」欄は、当初許可の指令番号を記載すること。
- 3 この報告は、工事完了又は許可満了から一週間以内に農業委員会を經由して報告すること。
- 4 農地造成の場合、写真はカラー写真により覆土前、覆土後の埋立て等の高さを示す写真及び全体写真を2部添付すること。
- 5 農地造成以外の場合、復元方法を示す図書及び復元後のカラー写真を2部添付すること。

(様式第 21 号の 4)

農業経営の実態調査

所有者（申請者）氏名	
------------	--

1 世帯の状況

	氏名	年齢	健康状態	職業	従事 日数	従事 年数
世帯主						

2 農地面積の状況（世帯全員の面積）

（単位：㎡）

	田	畑	計
自作地			
小作地			
貸付地			
計			

3

（1）作付け計画（造成地）

作目	作付時期	面積(a)	収量 (kg/10a)	農作業 従事日数
	月～ 月			約 日
	月～ 月			約 日
	月～ 月			約 日
	月～ 月			約 日

(2) 作付け状況（農地全体について）

作目	作付時期	面積(a)	収量 (kg/10a)	農作業 従事日数
	月～ 月			約 日
	月～ 月			約 日
	月～ 月			約 日
	月～ 月			約 日

4 家畜、施設の状況

(1) 家畜

採卵鶏	羽	肉牛	頭
ブロイラー	羽	豚	頭
乳牛	頭	羊	頭

(2) 建物

種類	棟数	建築面積
住家		m ²
納屋		
宅地		敷地面積 m ²

(3) 農機具

種類	台数	種類	台数

5 事情聴取結果

結果	理由
適当 ・ 不適當	